

温泉の利用状況について

泉 質： 単純温泉（低張性 弱アルカリ性 高温泉）

温泉成分の特徴： 無色透明、硫化水素臭がします。

（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量： 46.6℃ ー ー 1分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：R8.1.20）

浴槽の種類とその状況： 大浴槽、中浴槽（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況： 大浴槽・・・循環式

（温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽水を回収し、殺菌、ろ過、加温して再利用しています。）

中浴槽・・・かけ流し式

（浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。）

加水の状況： 大浴槽のみ、気温が上がる夏場、井戸水を加水しています。

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： 中浴槽は1時間位で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽等の清掃状況： 浴槽は、毎日完全にお湯を抜いて、清掃を行っています。シャワーは、週1回以上通水し、年2回以上の点検を行っています。点検の際に洗浄し、併せて消毒を行っています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行う為に、午前中、塩素系薬剤を浴槽に投入し、また午後より循環式ろ過装置にも塩素系薬剤を投入しています。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に1回実施しています。
※水質検査証は別に表示

令和 8年 1月20日

施設名 植木温泉 浴場 松の湯

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会